

平成
25年度

決算を認定

(決算審議中の委員会)

平成25年度桐生市歳入歳出決算及び桐生市水道事業会計決算については、それぞれ賛成多数で認定しました。

同決算の認定にあたっては、市長による平成25年度決算総括、監査委員による監査報告の後、決算特別委員会（委員18人で構成）を設置し、3日間にわたり慎重に審査を行いました。

なお、本会議における討論の概要は左記のとおりです。



賛成 討論

平成25年度は、新政権発足後のいわゆる三本の矢による経済政策により、株価のみならずデフレの状況を示す各指標も改善し、景気は緩やかに回復に向かったものの、我々の生活現場においては希望の光がさしたとは言い難く、様々な問題や不安と向き合う状況が続いていた中、本市においては、限られた予算を喫緊の課題や将来を見据えた諸施策に重点的に配分し、適切に執行できたことは評価できる。

平成25年度の財政状況は、昨年度と比べ財政力指数が0.56とわずかに低下したが、実質収支額は約23億円の黒字となり、実質収支比率は8.5%、経常収支比率が89.5%とそれぞれ0.3ポイント改善され、財政状況はより健全化したものと理解する。

具体的な取り組みでは、組織改革として本市における最重要課題である人口減少を担当する「人口対策室」や環境先進都市の実現に向けた「環境都市推進係」の新設は、高く評価できる。

また、主要事業として、中小企業新規取引先開拓支援事業、海外販路開拓支援事業は、これからの桐生の経済活性化に向けて必要な政策であり、道路新設改良・補修事業、橋梁長寿命化改修事業などは市民の暮らしに不可欠な事業を展開した。子育て関連では、動物園の60周年記念事業、私立保育園施設改修補助事業、未来創生塾支援、サイエンスドクター事業をはじめ、魅力ある政策を着実に実施し、子育て日本一に向けて大きく前進できたことと評価する。

今後とも人口減少、少子高齢化、市有施設の老朽化等の問題解決に尽力され、市政の発展を心から願い賛成とする。

反対 討論

本決算は、平成24年度からの緊急経済対策の延長線上にあるが、緊急経済対策として、その事業は急ぐ必要があったのか。中身は十分吟味できたのか。景気対策としての効果はあったのか。臨時財政特例債はどうか。結果的に財政の硬直化を招き、本来の「福祉の増進」のための支出や市独自裁量においての財政運営が困難になったのではないかと懸念する。

また、平成25年度個々の施策については評価するが、決算案には人件費部分が多く含まれている。平成17年3月29日付の総務省事務次官通知のように現在の職員の給与制度は、住民の納得と支持が得られているのか。官民格差の是正を求め、人件費部分を大きく含む決算案に主権者市民の視点で反対する。

一般会計の補正予算

○平成26年度桐生市一般会計補正予算(第4号) **可決**

概要 歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ2億5,090万2,000円を増額補正して、予算総額を468億8,035万3,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

- 総務費情報管理費
社会保障・税番号制度システム整備事業
.....5,090万1,000円の追加
(新制度におけるシステム改修委託料等)
- 衛生費予防接種費
予防接種事業.....4,952万8,000円の増額
(水痘及び高齢者肺炎球菌予防接種委託料等)
- 農林水産業費市有林管理費
山林火災跡地復旧事業.....3,004万8,000円の追加
(火災被害に遭った山林の復旧における委託料)
- 土木費道路橋梁新設改良費
道路橋梁新設改良事業.....1億2,000万円の増額
(天神町群馬大学付近ほか合計10か所)

○平成26年度桐生市一般会計補正予算(第5号) **可決**

概要 歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ150万円を増額補正して、予算総額を468億8,185万3,000円としたもの。

歳出予算の補正内容

- 教育費事務局費.....150万円の追加
(損害賠償請求控訴事件における和解金)